




































# 心カテ・PCI(入院翌日)

ステップ名称		入院日	検査前	検査後	検査翌日
		1日目	2日目		3日目
治療(処置)		 心臓カテーテル検査についてのDVDを観ていただきます	 検査までに、水やお茶を500ml以上飲んで下さい (透析をされている方は主治医からの指示に従ってください)	 止血バンドは看護師が緩めますのでそのままにしておいてください 絆創膏は翌朝まで貼付します	 穿刺部に貼ってある絆創膏を交換します
		 入院時体調の確認をします 体温、血圧測定を行います	 足の付け根から検査を行う方は、尿管を入れさせていただきます 主治医から抜去の指示があるまで入れたままで過ごしていただきます	 肘から穿刺した場合 肘を曲げないように固定します	
			 検査中に経皮的冠動脈形成術へ変更になる場合があります	 鼠径部から穿刺した場合 指定された時間まで穿刺側の足を曲げることができません	
				 止血バンドを緩め、除去した際に出血または腫脹があれば止血バンドを検査終了時の位置まで締めなおします 医師の指示通りに処置を行います	
薬剤					
注射			 検査前に点滴を行います	 主治医から指示があるまで点滴を継続します	 主治医から指示があるまで点滴を継続します
検査		心電図検査があります	 心臓カテーテル検査	 検査後、心電図モニターをつけます	 検査後、心電図モニターをつけます
食事/栄養			 検査前は絶食です	 検査前と同様の食事を提供します	 検査前と同様の食事を提供します
日常生活ケア	安全/活動			 検査後、手首・肘から穿刺した場合は車椅子 鼠径部から穿刺した場合はストレッチャーで病室へ移動します 帰室後の歩行は看護師の指示に従ってください	
				 肘から穿刺した場合は、帰室後から歩行は可能ですが 6時間は肘を曲げないでください	
				 鼠径部から穿刺した場合は、足の屈曲が許可された後に歩行可能となります 術後、初めて歩行するときはナースコールで看護師をお呼び下さい	 鼠径部から穿刺した場合は、足の屈曲が許可された後に歩行可能となります 術後、初めて歩行するときはナースコールで看護師をお呼び下さい
日常生活ケア	清潔				
日常生活ケア	教育/指導	 自宅で内服していたお薬について確認します お薬手帳などを用いて、何を飲んでいるか、中止している薬剤について看護師にお知らせ下さい	 血管造影室に歩いて行きます 義歯・腕時計などの金属類は外しておいてください		
		 今まで、お薬や食べ物でアレルギーが出た方は看護師にお知らせ下さい	 ガウンタイプの病衣に着換えていただきます 上は肌着を着用せず、病衣のみ着用してください		
		 検査前に同意書をいただきます			
	排泄				
観察				 検査後に胸部の痛みや不快感があれば看護師にお知らせ下さい	 検査後に胸部の痛みや不快感があれば看護師にお知らせ下さい
				 検査時、カテーテルを穿刺した部位の発赤や血腫、出血の有無を観察します	 検査時、カテーテルを穿刺した部位の発赤や血腫、出血の有無を観察します
				 検査から帰室後、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を1時間おきに3回測定します 治療を行った場合はその後24時まで2時間おきに測定を行います	
リハビリ/その他					